

# 愛西民報

2011年1月第26号

永年市議員 (24) 3613 中島雅雄委員 (25) 2786  
 加藤敏彦委員 (28) 3006 宮本和子市議員 (31) 2128  
 豊和久市議員 (26) 1405  
 下村一朗市議員 (28) 3008  
 愛西市 日本共産党 愛西市支部  
 お寄せください

## 12月議会報告

### 永和・市江出張所廃止へ

#### 「出張所整備検討報告書」出る

12月22日行われた議会全員協議会で、愛西市は、「出張所整備検討報告書」を提出しました。

この報告書では、支所は佐織支所（職員12名以内）、立田支所（職員6名以内）、八開支所（職員6名以内）の3か所とし、永和・市江出張所は廃止するとしています。出張所の廃止時期は、市庁舎増築後とする模様です。

永和・市江出張所の廃止理由は、総合庁舎からの距離が近いこと、総合庁舎の利便性の向上があげられています。

下村一朗議員はじめ、佐織地区の議員が、永和支所存続の要請を行っていましたが、支所廃止の方針が出ました。※この問題について、日本共産党議員団、愛西市委員会までみなさんのご意見をお寄せください。

## あけましておめでとうございます



### 本年もよろしくお願いいたします

日本共産党愛西市議団のホームページができました  
<http://aisai.jcpweb.net/>  
 ご意見ご感想をお寄せください

### 支所の市民サービス

#### 現在の機能を維持

日本共産党は、昨年4月の市議選で、総合支所と市民サービスの維持・充実に訴え、議会でも取り上げてきました。今回、出先機関の名称を「支所」とし、現在と「ほぼ同等の135項目の業務」を行なうとしています。

総合支所としての機能は守られることになりました。

#### 「愛西市庁舎整備基本計画案」パブリックコメントを実施

本庁を増改築する基本計画案が出され、1月に市民の声を募集するパブリックコメントを行なっています。

### 1月から補助を実施

#### 子宮頸がんなどのワクチン接種

12月議会の補正予算で、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌のワクチン接種への助成が提案され、1月17日から実施されます。医療費との差額（実費の約2割程度）は自己負担となります。

日本共産党は、一般質問や予算要望などを通じて、ワクチン接種への助成を求めてきました。9月議会に、新日本婦人の会から出された請願が、今議会の冒頭で趣旨採択され、1838筆の署名が市長に出されるなど市民の声も高まっています。

### ■助成額と対象者

種類	助成金額	助成対象者
子宮頸がん	13,000円	高校1年生 (平成23年度は中学1年から高校1年)
ヒブ	7,000円	2か月～5歳未満
肺炎球菌	9,000円	2か月～5歳未満

償実施を求めて賛成しました。

### 「草平児童館」の指定管理議案 共産党「指導者の継続が大事」と反対

児童館、子育て支援センターを民間に指定管理する議案に対して、日本共産党の下村一朗議員は「草平児童館は、選定得点が1位の事業者と現在指定管理を受けている事業者はわずかな差だったのに、新しい業者にかかわることになった。児童にとって指導員がかわるのは良くない」と指摘。

#### 市長「選考のあり方を検討」

文教福祉委員会の審議で、八木市長は「選考のあり方も内容をもっと吟味し、今後のあり方も検討するよう指示している」と答弁。今後、下村議員の指摘も検討することを約束しました。

### TPP参加で愛西市では約21億円の影響 参加反対の請願採択

12月議会最終日、「TPP（環太平洋経済連携協定）交渉参加反対に関する請願」（あいち海部農協、西尾張農民組合がそれぞれ請願）が賛成多数で採択されました。

#### 市長「現時点では反対」

加藤議員は、TPPは、関税を原則撤廃し、農産物の輸入完全自由化をすすめるものであり、日本農業と地域経済に深刻な打撃となる。八木市長は「現時点では、当然反対である」と表明しました。

日本共産党の加藤敏彦議員の一般質問で、日本がTPPに参加した場合、愛西市の影響は農業生産額で20億9600万円（22.4%減）となることが明らかになりました。



愛西市は児童館、子育て支援センター、障害者作業所、体育館など体育施設の総てを指定管理（運営から施設管理まで総てを委託）、また、新給食センターは建設から、今後15年間の運営まで全面委託する形で民間に「丸投げ」されました。



### ■品目別の影響額

※愛西市の農業生産額93億8000万円（平成18年の生産額）をもとに試算

品目	増減 (%)	影響額
コメ	-90%	14億6700万円
牛乳	-75.5%	2億8500万円
豚肉	-70%	3億2900万円
鶏卵	-18%	1575万円

# 日本共産党議員の一般質問から

永井千年議員

## 国民健康保険は社会保障

### 保険税の値上げやめよ

永井千年議員は、145世帯の留め置かれていた保険証をすぐに渡すとともに、短期保険証が、他の自治体は6ヶ月を中心にした運用なのに、愛西市は、1ヵ月や3ヵ月の交付が40%も増加していることとの改善を求めました。

市長「値上げはやむをえない」

市民部長は、「短期保険証は窓口で出している。納付誓約書を提出しても納付しない人は1ヵ月の保険証にしている。無茶な金額をお願いしているわけではない」と、改善を否定。

医療費の窓口負担の減免制度の周知の求めには、「窓口、広報、HPで、モデルケース

医療費の一部負担金の減免制度	
実収月額	免除等の内容
基準生活費の115%以下	全額免除
基準生活費の115%超130%以下	2分の1免除
基準生活費の130%超140%以下	徴収猶予
★基準生活費(生活保護の最低生活費)	
★徴収猶予(医療機関の窓口では払わず、市が直接徴収することにし、徴収を猶予する)	

下村一郎議員

## 法律違反の「野焼き禁止」の

### 取り組みを

下村一郎議員は、日本共産党の「市民アンケート」から「大きなドラム缶でどンドン燃やされるので、洗濯物には臭いがつくし、窓を開ければ灰と臭いが部屋の中まで入ってきて困っている」という市民の声を紹介し、「市役所や消防署に野焼きに関する苦情、産廃に対する苦情が届いているか」と質問。

市民部長と消防長は、苦情件数は平成19年147件、平成20年184件、平成21年157件と「多数の苦情が寄せられている」と答弁。

下村議員は、広報や、「野焼きパトロール」の実施、「枯れ草や農業廃棄物などの堆肥化」などの検討を提案。

市民部長は、「チラシの作成はやりたい。また、広報、パトロールや堆肥化の研究などについては今後検討したい」と答えた。

## 市は雇用確保にもっと取り組み

永井議員は、「スポーツ施設の指定管理では、シルバークセンターの仕事が大きく減少する」と、業者への指導を求めました。また、賃金や労働条件を確保し、工事やサービスの低下を防ぐ「公契約条例」の検討を求めました。

経済建設部長は、「業者に引き続き雇用するよう指導している。公契約条例は現時点では考えていないが、研究したい」と答弁しました。

## 市の128施設プロ集団で管理を

下村議員は、年間約6億1000万円の修理・改修予算のかかる庁舎や学校施設など128施設の管理について、

建物管理や工事発注を各課が行っていることに対して、「愛西市には建築士が複数おり、施設管理のエキスパートがいる。「施設管理課」のよ

真野和久議員

## 地域活性化交付金を活用し

### 住宅リホーム助成の実施を

真野和久議員は、景気対策として注目されている「住宅リフォーム助成制度」について、蒲都市で、約1415万円の助成の段階で2億728万円の工事額と、15倍の経済効果が上がっていること、愛西市商工会と話をした中でも、「良い制度のようなので、ぜひ実現してほしい」と言われたことを紹介。国からの地域活性化交付金約1億1千万円を利用し、市内の業者に仕事をつくるよう求めました。

副市長「耐震改修が進まなくなる」

経済建設部長は、「一定の効果があり、利用者も多いと思うが、愛西市は耐震改修を優先」と答弁。副市長は、「地域活性化交付金も使える

が、①今年度限りでは、継続性に問題、②使いやすいうリフォーム助成ができる」と答弁。真野議員は問題のすり替えを批判し、景気対策として再検討するよう求めました。

津島市民病院に巡回バス乗り入れを

真野議員は、市民から要望の強い、津島市民病院への乗り入れについて、津島市の企画書で、「市長も、議会も、ぜひ愛西市のバスに乗り入れてほしいと言っている」と話されたことを紹介し、早期に実施するよう求めました。総務部長は、「病院や駅への乗り入れは、改善を進めて行くなかで検討したい」と早期の検討は否定しました。



うなものをづくり、プロ集団が全施設を管理すれば経費の面でも、内容の面でも大きな力を発揮できる」と提案。総務部長は「良い提案だと思う。今の職員だけでは無理だが検討する」と答弁しました。

## 勝幡駅前広場の安全対策・浸水対策は

加藤敏彦議員

加藤敏彦議員は、住民要望である駅西の踏切の改良工事、駅前広場事業の計画、安全対策、排水計画、校庭の拡幅について質問しました。

## 平成23年度踏み切り工事

踏切の改良工事について、経済建設部長は、「平成22年度に取り付け道路、23年度に踏み切り工事を行う」と答弁。また、教育部長は、「小学校の校庭は東南角までまっすぐ広げ、遊具の移設を考えている。工事は平成24年度に計画している」と答弁しました。

加藤議員は、野球のボールが、民家に飛んでいく問題について、防球ネットの整備を求めましたが、教育部長は「ボールが校外に行かないように、学校に要望を強くした。経過を見ながらすすめていきたい」との答弁でした。

## 佐織中学校防球ネットの整備

加藤議員は、野球のボールが、民家に飛んでいく問題について、防球ネットの整備を求めましたが、教育部長は「ボールが校外に行かないように、学校に要望を強くした。経過を見ながらすすめていきたい」との答弁でした。

安全対策について、経済建

## 立田・八開庁舎の確定申告 従来どおりの平日開設に

来年から日曜日しか行わないとしていた立田・八開庁舎の確定申告は、これまで通りにすすめることになりました。

11月24日、日本共産党市議団が「2011年度愛西市予算編成についての要求書」を八木市長に提出し、懇談した中で、回答があったものです。党市議団は、「市民アンケート」などをまとめ、233項目について市長に要望しました。